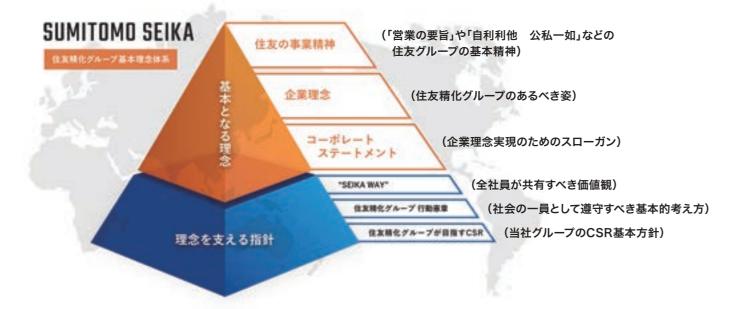


私たちが目指すもの ~住友精化グループの基本理念~

住友精化グループは、経営の礎となる基本理念体系を定めています。 それは理念としての「住友の事業精神」「企業理念」「コーポレートステートメント」と、 それを支える3つの指針から成り立っています。

この基本理念体系のもと、私たち住友精化グループは、人々の健康で快適な暮らしを実現し、 社会の発展に貢献するために日々新たな課題に挑戦してまいります。



住友の事業精神

➤ 住友の事業精神についてはP.33参照

1.「営業の要旨」

第1条 わが住友の営業は信用を重んじ確実を旨とし、もってその鞏固隆盛を期すべし。

第2条 わが住友の営業は時勢の変遷、理財の得失を計り、弛張興廃することあるべしといえども、 いやしくも浮利にはしり軽進すべからず。

2.「自利利他 公私一如」

「自利利他 公私一如」とは、「住友の事業は、住友自身を利するとともに、国家を利し、かつ社会を利するものでなけ ればならない」とする考え方であり、常に「公益との調和」を図り、企業の社会的責任を果たすべきことを表しています。

企業 理念

「住友の事業精神の下で、住友精化グループは、化学の分野で世界に通じる独創的な技術を開発し、 特色のある質の高い製品を国内外に供給することにより、社会の発展に貢献します。」

コーポレートステートメント



我々は世界の変化を先取りし、 独自性のある自由な発想で驚きを提供し、 自らも成長し続けることにより、 地球と人々のくらしに潤い(URUOI)を与えます。

contents

住友精化の事業活動

- 01 私たちが目指すもの ~住友精化グループの基本理念~
- 02 目次/編集方針
- 03 ステークホルダーの皆さまへ
- 05 2022年度 中期経営計画
- 06 住友精化グループが目指すCSR
- CSR委員会 07
- 08 レスポンシブル・ケア活動の方針・推進体制
- レスポンシブル・ケア活動と実績



環境への取り組み

環境保全

11

社会との関わり

- 15 地域・社会とともに
- **17** お客様・お取引先様とともに
- 20 社員とともに
- 株主・投資家とともに



ガバナンス

ガバナンスと リスク・ コンプライアンス

会社情報·事業報告

- 会社概要と2019年度の業績
- 26 事業紹介
- 29 暮らしの中の住友精化
- 31 グループネットワーク
- 住友の事業精神/CSR報告書Webサイトのご案内
- 第三者検証意見書

CSR報告書発行にあたって

当社グループは、化学物質の開発から製造、物流、使用、最終消費を経て廃棄・リサイクルに 至るすべての過程において環境・安全・健康を確保するレスポンシブル・ケア(RC)活動に長年 取り組んでいます。このRC活動を軸として、お客様、株主、お取引先、地域の皆様ならびに社員 などのステークホルダーの皆様方と当社グループの関わりについて、「CSR報告書」の形で紹 介させていただきます。少しでも多くの方に当社グループのCSRの考え方や取り組みを知って いただきたいと考えております。また、今後、更に内容を充実させていきたいと存じます。

なお、本報告書作成に当たり、環境省発行の「環境報告ガイドライン2018」および「環境会 計ガイドライン2005」を参考にいたしました。また、記載事項については、一般社団法人日本 化学工業協会による第三者検証を受審しています。

報告書の対象範囲

対象組織: 1.RCパフォーマンスデータおよび就労関連 データは国内拠点のみを対象としています。

2.会社概要および2019年度の業績には 国内外の連結子会社を含みます。

対象期間: 2019年4月1日~2020年3月31日 対象分野: CSR活動およびRCパフォーマンスデータ 発 行: 2020年9月(次回発行予定2021年9月)

※当社(住友精化)グループとは、当社および連結子会社からなる企業集団 により構成されます。

※一部、最新の情報掲載のため、対象期間外について掲載するときには、日付 を明記しています。

「不確実な時代における変化への 対応力を強化してまいります」

Message from the PRESIDENT

代表取締役社長

小川青三



本報告書発行にあたり、一言ご挨拶申しあげます。

私たちは今、経済成長や社会問題に加えて、気候変動や自然災害といった地球規模の課題に直面しており、国際社会が協力して持続可能な開発目標 (SDGs) に取り組んでいるところですが、さらに目下の課題として、新型コロナウイルス感染症に対する対応が急務であります。

これからの当社グループの事業活動は、新型コロナ ウイルスと共生しながら、エネルギーの削減、CO2排 出の削減、資源のリサイクルなど様々な課題にグループ 一丸となってチャレンジしなければなりません。当社グ ループは、一昨年、CSR活動をグループ全体で強力に 推進するため、指針として「住友精化グループが目指す CSR」を制定し、世界共通の目標であるSDGsの課題 に取り組むことを表明しております。また、全社横断的 なCSRの具体的活動推進機関として、「CSR委員会」 を設置し、SDGsの目標に向かって、CSR活動を深化 させています。本年度は、当社グループとしてのマテリ アリティ(優先課題)を設定することを目標として鋭意 活動を進めており、先の読めない不確実な時代の中、 今般の感染症などの様々なリスクに備えると共にリスク をチャンスと捉え、変化への対応力を強化してまいりた いと存じます。

また、当社グループが事業の根本精神とする「住友の事業精神」には、「自利(じり) 利他(りた)公私(こうし)一如(いちにょ)」という言葉があります。これは、「事業は自らを利するとともに、広く地域や社会を利す

るものでなければならない」という考え方を表すもので あり、社員の一人ひとりが事業活動を行っていくうえで 常に強く意識すべき根本精神です。まさにSDGsの目指 すところと同じ考え方であり、その精神は我々の中に 脈々と受け継がれているものです。社員にはSDGsは当 社グループの中で培われてきた文化に通じていることを 再認識し、SDGsのために特別な行動をするのではなく、 SDGsを経営の中心に置き、常にそれを当然のこととし て行動することを求めています。未だ新型コロナウイル ス感染症の収束の兆しが見えない中、当社グループは、 社員とその家族、お取引先様の皆様、地域社会の皆 様の健康を最優先に考えながら、企業としての社会的 責任を果たすべく事業活動を継続しています。厳しい 環境下ではありますが、業務を着実に遂行している一 人ひとりの行動は、まさしく当社グループの事業精神そ のものであると考えます。このような環境の中において もこの精神は十分に発揮されていることを頼もしく思い ながら、今後もこの精神を軸として、新型コロナウイル スと共生する社会において、持続可能な経営を追求し てまいります。

本報告書では、当社グループの具体的なCSR活動を紹介しています。当社グループのCSR活動の考え方と取り組みへのご理解を賜るとともに、今後の活動の向上のため、忌憚のないご意見、ご指摘をいただければ幸いです。今後とも当社グループへの更なるご支援を賜りますようよろしくお願い申しあげます。

2020年9月

住友精化グループは以下のCSR活動に取り組んでいます。

事業活動を通じた社会貢献

当社グループは、事業そのもの、つまり製品やサービスの提供を通じて社会の持続的な発展に貢献してまいりたいと考えております。

例えば、当社の製品である高吸水性樹脂"アクアキープ"は、紙おむつの原料として使用されています。より高品質の製品を提供することで、赤ちゃんをはじめ、紙おむつを使用するすべての人の清潔で快適な暮らしと、育児や介護に関わる方の負担軽減に貢献できるものと考えております。

当社グループは、自らの製品やサービスを通じた社会的な課題の解決と持続可能な社会の発展への貢献を強く意識して、事業活動に取り組んでまいります。

安全の確保・安定操業の実現

安全確保・安定操業は我々の事業を支えるコアであり、事業に係るすべてのプロセスに光を当て、安全をすべてに優先し、安定して製品を供給することが、我々の果たすべき社会的な責任です。日頃から「想定外のことを想定する」ことを忘れず、「安全をすべてに優先させる」という基本原則のもと、安全に対する地道な活動を行ってまいります。例えば、全社をあげての事故対策

訓練を行い、従業員の危機管理意識の更なる向上に 取り組んでいます。今後とも、これまでの事故事例や 訓練での成果を踏まえ、管理レベルをより向上させる べく、教育や訓練、技術伝承といった人財育成にも注 力してまいります。

地球レベルでの環境保護実現

地球レベルでの環境保護の実現のため、省エネルギーの推進、廃棄物削減、PRTR対象化学物質・揮発性有機化学物質(VOC)の削減、重大環境トラブル"ゼロ"などの目標を掲げ、対策を実施しております。また、その他の項目に関しても、引き続き対策を実施し、着実に取り組むことで、環境保護に努めてまいります。

企業の社会的責任を果たす

企業の社会的責任を果たすためにレスポンシブル・ケア精神を尊び、コンプライアンス遵守に努めています。さらには内部統制システムの充実、製品の品質維持・向上、環境保護と安全の確保、様々なステークホルダーとの対話を通じたコーポレート・ガバナンスの強化、地域社会への貢献といった取り組みを通じ、企業価値の更なる向上を図ってまいります。

2022年度 中期経営計画

経営計画の変更

当社は、2016年度からの10ヶ年中長期経営計画および2018年度からの3ヶ年中期経営計画に基づいて 取り組みを進めてまいりましたが、吸水性樹脂の事業環境の変化や新製品開発計画の遅延等により、

計画の達成は困難と判断し、経営計画を変更いたしました。

2020年度から2022年度までの新しい中期経営計画では、

喫緊の経営課題である事業構造の変革および研究開発の強化に取り組み、

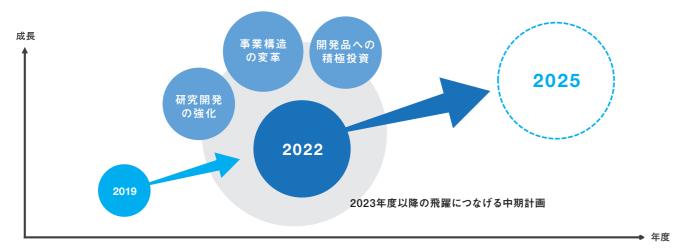
3事業すべてが成長を牽引する事業構造への転換を進めることとします。

売上高 1,200億円 営業利益 80億円 ROE 8.5%



2023年度以降の飛躍につなげる中期計画とする

2023年度以降の飛躍に向け、サステナブルな事業構造へ転換



2025年度目標

事業環境変化や新製品開発状況等を踏まえ、次期中期経営計画として策定

住友精化グループが目指すCSR

当社グループは、指針として、「住友精化グループが目指すCSR」を制定し、
CSR活動に全社でコミットするとともに世界共通の目標であるSDGsの課題に取り組み、
持続可能な社会の発展に貢献していくことを表明しています。

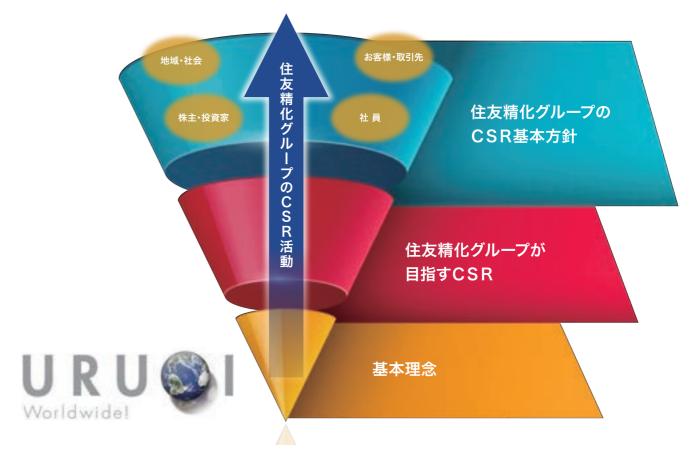
「住友精化グループが目指すCSR」(2018年11月6日制定)

「住友精化グループは、企業理念の実践により、我々にしかできない価値を創造することで、 世界共通の目標であるSDGsの課題に取り組み、持続可能な社会の発展に貢献します。 これにより、全てのステークホルダーの期待に応えていくことを目指します。」

「住友精化グループのCSR基本方針」(2018年11月6日制定)

住友精化グループは、以下の基本方針の下で、CSR活動に取り組んでまいります。

- 1. 快適な暮らしを支える製品の提供、ニーズを機能で解決する製品の開発、産業基盤を支える優れた製品とサービスの提供を通じて、社会的課題を解決し、持続可能な社会の発展に貢献します。
- 2. 化学メーカーとして、無事故無災害を最優先に考え、工場の安全・安定操業と製品の安全輸送に取り組みます。
- 3. 製品と生産プロセスがヒトや環境に与える影響を適切に評価し、安全性の確保と環境への配慮に取り組みます。
- 4. 品質管理を徹底し、お客様が満足・安心して使用できる製品とサービスを提供します。
- 5. 従業員が安全かつ健康的に仕事に取り組むことができる職場環境を提供し、仕事に誇りとやりがいを持てる組織風土をつくります。
- 6. 企業市民として、社会に参画し、社会との共存共栄を目指します。



CSR委員会

当社グループは「住友精化グループが目指すCSR」および「住友精化グループのCSR基本方針」を実現するための全社横断的な具体的活動推進機関として各部門長で構成される「CSR委員会」を設置してCSR活動に取り組んでいます。CSR委員会では、住友精化グループCSR活動の年度目標の策定、CSR活動の実施状況のレビューや各部門のCSR活動に対する指導および助言を行っています。

また、CSR委員会によって定められた全社年度目標に基づき、各部門は自部門の目標を設定し、CSR活動を進めています。



住友精化グループのCSR活動

SDGsへの取り組みに向けての意識の変革と実践

2019年度 目標

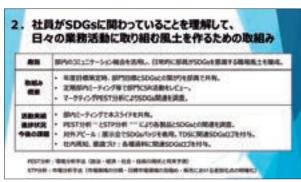
- 1. 自部門の従業員一人ひとりが自分の仕事がどのように社会と繋がり、どのようにSDGsに関わっているのかを理解して、日々の業務活動に取り組む風土を作る。
- 2. それぞれの部門がそれぞれの立場で、SDGsの17の目標のなかで自部門が貢献すべき目標を 設定し、日々の業務活動を通じた貢献を図る。

2020年度 目標

1. 当社事業活動を行う上で、SDGsに関し、どのような課題があるかを抽出し、また、当社ステークホルダーへの影響を評価した上で、会社全体として優先的に取り組む課題(マテリアリティ)を決定する。

2. 海外子会社を含めた全部門がそれぞれの立場で、SDGsの17の目標のなかで自部門が貢献すべき目標を設定し、日々の業務活動を通じた貢献を図る。

■2019年度各部門の目標(国内の設定例)





■2019年度各部門の目標(海外子会社の設定例)



レスポンシブル・ケア活動の方針・推進体制

当社は、自主的に「環境・安全・健康」を確保し、社会との対話を行うレスポンシブル・ケア活動 に取り組んでいます。

代表取締役 常務執行役員 レスポンシブル・ケア (RC) 担当役員 重田 裕基 さん



方針

当社は、「安全をすべてに優先させる」ことを基本に、「無事故・無災害」、「顧客重視」、「社会との共存共栄」を基本理念として、「安全・環境・品質に関する経営基本方針」を定めています。

中でもレスポンシブル・ケア活動は、私達化学企業にとって持続的な発展を続け、社会の信頼を得るために極めて重要な課題です。当社では、1995年からレスポンシブル・ケア活動に参加し、社会の一員として法令遵守はもとより、自主的に環境保全や労働安全、保安防災に取り組んでいます。レスポンシブル・ケア活動をより一層強化し、社会に発信する良い機会であると考え、2014年に改訂された「レスポンシブル・ケア世界憲章」に署名を行いました。





推進体制

環境保全や労働安全、保安防災などに対応する にあたっては、時に大きな投資を求められることか ら、当社は、施策の推進に対して的確な経営判断を下すために内部統制委員会の下にレスポンシブル・ケア委員会を設置しています。また、これらの委員会にて、毎年、「方針・計画の審議・決定」、「plan-do-check-actが実行できているかどうかの確認」を行っています。

レスポンシブル・ケア監査

当社は、PDCAを継続して回し、スパイラルアップを図るためにレスポンシブル・ケア委員長のもと設置される専門部会によるレスポンシブル・ケア監査を行っており、毎年国内工場および連結子会社の製造拠点の監査を実施しています。この監査において年度のレスポンシブル・ケア活動計画の実施状況をチェックし、その結果を内部統制委員会およびレスポンシブル・ケア委員会において報告することで、マネジメントレビューに生かしています。

マネジメントシステム認証

当社は、品質、環境、労働安全衛生のシステム を構築し、認証取得を行っています。

	規格	認証機関
品質	ISO9001: 2015	JCQA
環境	ISO14001: 2015	JCQA
労働安全衛生	OSHMS	中災防

レスポンシブル・ケア(RC)とは

多くの化学系の企業では、化学物質の開発から製造・物流・使用・最終消費を経て廃棄・リサイクルに至る全過程において、自主的に「環境・健康・安全」を確保し、その活動の経過を公表し、社会との対話・コミュニケーションを行う活動を"レスポンシブル・ケア"と呼んでおり、世界約60カ国の諸国で実践されている世界的な取り組みです。

レスポンシブル・ケア活動と実績

3 すべての人に 健康と福祉を











「レスポンシブル・ケア活動の取り組み課題と実績」について報告します。

	2019年度	の取り組み		2020年度の取り組み	
項目	日標	目標達成状況	評価	目標	
法遵守 (コンプライアンス)	(1) 法違反"ゼロ" (2) 社内規則およびルールの遵守	(1) 法違反: 0件 (2) 「決められたルールを必ず守る」意識の周知 徹底への取り組み、「規則・ルール記載書類の 見直し」などを実施。	(2) 「決められたルールを必ず守る」意識の周知 徹底への取り組み、「規則・ルール記載書類の (1) 法違反"ゼロ" (2) 社内規則およびルールの遵守		
労働安全	休業災害、不休災害および交通事故(加害)"ゼロ"	休業災害:0件、不休災害:3件 交通事故(加害):20件	×	休業災害、不休災害および交通事故(加害)"ゼロ"	
衛生	私傷病休業者の削減および快適な職場作りの推進	時間外労働時間の削減や有給休暇取得率の向上、メンタルケアの強化、健康診断の充実などの取り組みを実施。		私傷病休業者の削減および快適な職場作りの推進	
保安・防災	(1) 重大トラブル"ゼロ" (2) トラブル発生時の対応強化	(1) 重大トラブル: 0件 (2) 各種訓練の実施		(1) 重大トラブル"ゼロ" (2) トラブル発生時の対応強化	
化学品安全	化学品の適正管理の推進	米国、欧州、韓国、台湾における海外化学物質規制などに対し、着実に対応中。		化学品の適正管理の推進	
物流安全	重大物流事故"ゼロ"	重大物流事故:0件		重大物流事故"ゼロ"	
環境	 (1) 重大環境トラブル"ゼロ" (2) 製造・製品輸送に関わるエネルギー原単位 対前年度比 1 % 削減 (3) 廃棄物発生量原単位:0.039t/t (代表製品生産量換算)維持(2015年度実績) 最終埋立処分量:廃棄物発生量の1%以下 	 (1) 重大環境トラブル: 0件 (2) 製造エネルギー原単位: 0.354 対前年度比 1.1 %増加 輸送エネルギー原単位: 5.41 対前年度比 6.9 %増加 (3) 廃棄物発生原単位: 0.043t/t 最終埋立量: 24t/年(発生量の 0.2 %) 	×	(1) 重大環境トラブル"ゼロ" (2) 製造・製品輸送に関わるエネルギー原単位 対前年度比 1 % 削減 (3) GHG (温室効果ガス)削減に関する取り組みの推進 (4) 廃棄物ゼロエミッションへの取り組みの推進	
品質	(1) 重大クレーム"ゼロ"の継続 (2) 自社起因品質トラブルの削減 全社品質トラブル件数 60件以下 人的要因品質トラブル件数 10件以下 (3) (下期より項目追加 損失コスト1,500万円以下)	(1) 重大クレーム: 0件 (2) 自社起因品質トラブルの削減 全社品質トラブル件数: 58件 人的要因品質トラブル件数: 11件 (3) (損失コスト: 2,500万円)	(1) 重大クレーム"ゼロ"の継続 (2) 自社起因品質トラブルの削減 全社品質トラブル件数 55件以下 人的要因品質トラブル件数 10件以下 (3) 損失コスト1,500万円以下		
住友精化グループへの 対応	海外グループ会社の安全・環境管理、化学品安全 および品質保証体制の強化	災害速報、トラブル報告の配信、海外事業所のRC 監査・品質監査の実施。		海外グループ会社の安全・環境管理、化学品安全 および品質保証体制の強化	
情報公開と社会貢献	ステークホルダーへのRC情報の提供による コミュニケーション、および地域貢献の促進	「化学の日子ども化学実験ショー」、「おもしろ教室」、「環境フェスティバル」への出展、「インターンシップ」の受け入れ、「地区対話集会」などを実施。		ステークホルダーへのRC情報の提供による コミュニケーション、および地域貢献の促進	

○:目標達成 △:目標ほぼ達成 ×:目標未達成

環境保全

環境負荷物質の低減は、地球環境と人の健康・安全に配慮する上で重要な課題ですので、環境ト ラブル"ゼロ"、および事業運営に伴う環境負荷を低減を図ることで環境保全への貢献に努めてい ます。

▶環境負荷 (2019年度実績)

	T			
エネルギー使用量(原油換算)	81,404kl			
水使用量(冷却水の海水除く)	4,890 ↑ m³			
原材料使用量	233千t 及び 2,036千Nm ³			
•	INPUT			
住友精化の	の事業活動			
計画				
開	発			
•	▼			
	産 /年(換算生産量)			
•	V			
販	売			

	•	OUTPUT			
	CO ₂ (**)	212,035 t			
	SOx	1.2 t			
+ /=	NOx	57.8 t			
大気	ばいじん	0.5 t			
	PRTR対象物質	27.8 t			
	VOC物質	220 t			
· ·					
	排水	4,249 ↑ m³			
水質	COD	41.1 t			
小貝	全窒素	10.2 t			
	全リン	1.05 t			
	廃棄物発生原単位	0.043 t/t			
** **	外部委託処分量	6,603 t			

73 %

24 t

(※) CO2のみ、本社を含んでいます。

リサイクル率

最終埋立処分量

廃棄物

環境トラブルの防止

当社は、重大環境トラブル* "ゼロ"を毎年目標と して掲げて活動しており、2019年度はトラブル"ゼ 口"でした。

今後も環境トラブルを起こさないよう、大気汚 染防止法、水質汚濁防止法の規制値や自治体との 協定値を遵守するとともに、環境保全に努めます。

※製造工程などで、環境における重大な不具合が発生したもの

- ①公設防災機関の出動をあおぎ、防災活動を求めたもの。
- ② 環境関係法規に照らし、処分を受けたもの。
- ③ 環境関係法規に従い、関係機関に届出を行ったが、行政 処分は受けなかったもの。

をいう。

水質保全

活性汚泥処理などにより、水質汚濁物質の排出 量低減や適正管理に努めており、2019年度はほ ぼ昨年同等となりました。

▶水質汚濁負荷量



地球温暖化防止・省エネルギー

代表製品換算生産量の単位当たりに対するCO2 排出量やエネルギー使用量を「原単位」として 把握・管理し、環境保全に努めています。2019年 度は、「エネルギー原単位 対前年度比1%削減」 の目標に対し、種々対策を講じたものの、対前年 度比1.1%増加となりました。

▶省エネルギー状況



▶CO₂排出量



大気保全

SOx、NOx、ばいじん、化学物質排出把握管 理促進法 (PRTR法) 対象物質、VOC物質の適 正管理や排出量の低減に努めています。

2019年度は、ボイラーから排出されるSOx、 NOx、ばいじんの排出量は減少しています。

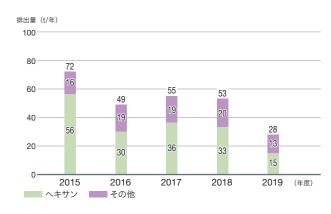
PRTR対象物質の大気排出量は計画的に削減 を進めており、前年度と比べ大幅に減少しました。

また、VOC物質の大気排出量は、設備の稼働 率が低下したことにより前年度と比べ大幅に減少し ました。

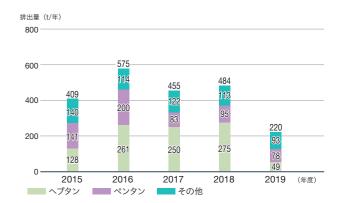
▶SOx、NOx、ばいじんの排出量



▶PRTR法対象物質排出量



▶ VOC物質排出量



環境保全









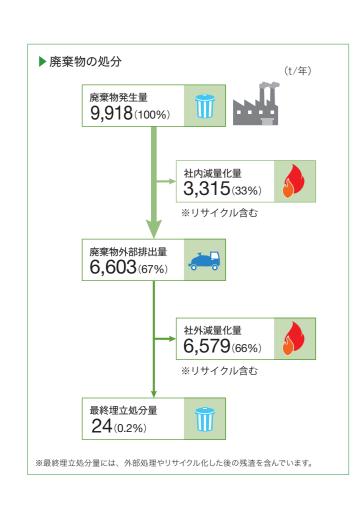




廃棄物削減

廃棄物を排出するに当たり、分別、マニフェスト の管理、産業廃棄物処理委託業者への適切な処 理依頼など、廃棄物処理法を確実に遵守してい ます。

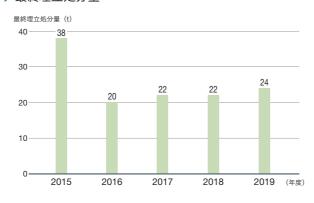
2019年度は廃棄物発生原単位0.039t/t、最 終埋立処分を廃棄物発生量の1%以下の目標に対 し、廃棄物発生原単位0.043 t/t、最終埋立処 分は発生量の0.2%でした。



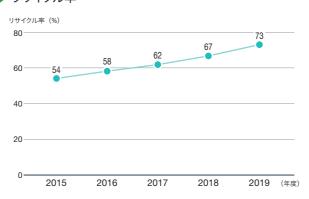
▶廃棄物外部排出量および発生原単位



▶最終埋立処分量



▶リサイクル率



▶2019年度環境会計および経済効果

	年度	20	17	20	18	20	19
	環境保全コストの分類	投資額	費用額	投資額	費用額	投資額	費用額
事業エリ	公害防止コスト	48	329	4	280	70	258
ア 内 コ	地球環境保全コスト (温暖化・省エネ)	18	1,785	34	1,878	23	1,797
スト	資源循環コスト	0	266	0	284	0	328
	上・下流コスト	1	11	1	11	0	11
	管理活動コスト	10	166	26	172	13	161
	研究開発コスト	192	288	153	325	15	168
	社会活動コスト	0	1	0	2	0	1
	環境損傷対応コスト	0	0	0	0	0	0
	総計	269	2,846	218	2,952	121	2,724
	経済効果	79	9	47	72	44	13

対象期間:毎年4月1日から翌年3月31日までの1年間 範囲:当社単独 算出方法:投資額、ランニングコスト等の費用額は実行費用から環境保全に関わる割合を案分して算出しています。

▶ 工場パフォーマンスデータ (2019年度)

		別府工場	姫路工場	千葉工場
エネルギー(原油換算	.)	12,324kℓ/年	66,869kℓ/年	2,115kℓ/年
	CO ₂	72,755t/年	129,424t/年	5,362t/年
+ <i>5</i>	SOx	1.2t/年	_	_
大気	NOx	6.2t/年	51.2t/年	0.4t/年
	PRTR 対象物質	2.4t/年	18.9t/年	6.5t/年
排水	排水量	2,046千m³/年	1,975千m³/年	229千m³/年
	COD	25.4t/年	15.4t/年	0.3t/年
	発生量	6,208t/年	3,537t/年	173t/年
廃棄物	リサイクル率	58%	99%	95%
	最終埋立処分量	16.6t/年	7.1t/年	0.7t/年

地域・社会とともに





地域・社会の皆様とのコミュニケーション

地域との良好な関係の構築・発展のため、各事業所において「情報開示」、「地域の皆様とのコミュニケーション」活動に取り組んでいます。

イベントへの参画

毎年恒例となっています日本化学工業協会主催の"化学の日子ども化学実験ショー(実験テーマ:つくってみようよ!「ぷるぷる芳香剤」)"、兵庫県播磨町で"おもしろ教室(食品サンプルの製作を通じて、ゴミの分別やリサイクルといった環境問題について考える講座)"、兵庫県姫路市主催の"ひめじ環境フェスティバル"への出展を行っています。

これらの活動により、子ども達が化学に興味を 持ったり、環境問題について考えてもらう機会とな ればと考えています。



化学の日子ども化学実験ショー

地域の清掃・美化活動

各工場において定期的に事業所周辺道路や側溝 などの構外清掃活動を積極的に行っています。



構外清掃 (姫路工場の例)

地域の方との交流

「情報開示」と「地域の皆様とのコミュニケーション」の一環として、"地域の方の防災訓練見学"などを開催し、当社の取り組みを説明するとともにご意見やご提案を伺う場としています。



地区対話集会 (別府工場)

就業体験などの受け入れ

中学生や高校生が、自らの専攻、職業観、生き方などを考える機会として「インターンシップ」 や兵庫県の「トライやるウィーク」といった就業体

験の受け入 れを行って います。



海外からのインターンシップ(姫路工場の例)

献血活動

赤十字血液センター移動献血車による社内献血 活動を行っています。毎回、大勢の社員が協力し ていますので、今後も継続していきます。

労働安全衛生・保安防災

「安全をすべてに優先させる」を経営の基本理念とし、従業員が安全で安心して働くことができる 職場づくりを目標に取り組んでいます。

労働安全衛生

当社は、休業災害、不休災害および交通災害 (加害) "ゼロ"を目標に掲げていますが、2019年 度は不休災害3件が発生いたしました。SEIKA 安全基本ルール(作業前の一呼吸、相互注意)を 従業員一人ひとりに浸透させるとともに、「決められ たルールを必ず守る」意識の周知徹底を行うことで、 災害"ゼロ"達成に取り組んでいきます。

保安防災

当社は、重大トラブル※"ゼロ"を目標に掲げており、2013年度に1件発生した以降、"ゼロ"を継続しています。

なお、災害、事故などの有事発生の際、重要業務への影響を最小限に抑え、速やかに事業の復旧・再開ができるように災害事故を想定した実地訓練の実施や、BCP(Business Continuity Plan:事業継続計画)を策定中です。

今後も実践的な内容で訓練を継続し、危機対応能力の向上を図っていきます。

- ※製造工程などで、安全(保安防災)で重大な不具合が発生 したもの
- ① 公設防災機関の出動をあおぎ、防災活動を求めたもの。
- ② 防災関係法規に照らし、処分を受けたもの。
- ③ 防災関係法規に従い、関係機関に届出を行ったが、行政処分は受けなかったもの。

をいう。



総合防災訓練

▶ 労働災害 (工場内) の発生件数



TOPICS

播磨町と「災害時における支援協力に関する協定」を締結 (別府工場)

2019年11月、当社は、播磨町と「災害時における 支援協力に関する協定」を締結しました。大規模災 害が発生した際、グラウンドなどの自社施設を避難場 所や災害備品供給拠点などに提供します。

当工場が隣接する地域は家屋密集地域ということもあり、大規模火災リスクが非常に高く、避難場所や災害後の復旧局面における活動場所の不足といった問題がありました。当社としても地域貢献や地域社会との共生を目指すCSR活動を積極的に進めており、今回の協定はまさにその理念に合致するものとして、喜んで応じました。

昨今、想定外の天災が相次ぎましたが、これらへ

の対応は非常に難しい面があります。とはいうものの、 企業の責任として想定外にも備える対応が求められて おり、まさに、今回の協定も想定外に備えるための一 環の施策です。これにより、地域の皆様に少しでも安

心をお届けできれば幸いです。また、当社としても想定外を想定することを常に肝に銘じ、協定締結を機に一層気を引き締め、引き続き安全で安心な事業活動を進めてまいります。



協定書を交換する清水町長と山本別府工場長

お客様・お取引先様とともに







当社は、グループ全体でお客様に満足し、かつ安心して、使用いただける品質の製品とサービスの提供を通じて、お客様との長期的な信頼関係を構築すべく、日々業務にまい進しています。

お取引先様との連携

当社は、企業の社会的責任を果たしていくためには、お取引先様の協力が不可欠と考えています。 適正な評価と、公正かつ透明性のある購買方針のもと、お取引先様と連携しながらサプライ チェーン全体で、社会的責任の実現を図っていきます。

購買基本理念

- 1. 住友精化は自由で透明性のある誠実な購買活動に努めます。
- 2. 住友精化はコンプライアンスを大前提とした 購買活動を行います。
- 3. 住友精化は購買活動遂行にあたり個人的利害を反映させません。
- 4. 住友精化は購買活動において企業の社会的責任の遂行を果たします。
- 5. 住友精化は購入取引先の選定について以下の事項を重視します。
 - ◇社会的規範、関係法令を遵守していること
 - ◇反社会的勢力との繋がりがないこと
 - ◇環境保全に取組んでいること
 - ◇人権の尊重と人種差別の排除に取組んでいること
 - ◇労働環境に関する配慮を重視していること

TOPICS

令和元年度高圧ガス保安経済産業大臣表彰(優良販売業者)受賞

2019年10月、当社大阪本社は、長年の高圧ガス 販売事業者としての功績が認められ、高圧ガス保安 経済産業大臣表彰(優良販売業者)を受賞しました。 本表彰は、経済産業省が、保安意識の高揚を図り、 高圧ガスの保安を推進することを目的に、高圧ガス による災害防止のために努力し、著しい成果を収めた 優良事業所や高圧ガスの保安に関し永年にわたり顕 著な功績をあげた保安功労者等に対し、毎秋、「高圧 ガス保安活動促進週間」の期間中に実施しているも のです。

当社は、医療ガスやエレクトロニクスガスなど40 種類を超える各種ガスのメーカーとして、大阪(本社)、東京(本社)に販売拠点を置いております。保 安管理のため人材を配置し万全の態勢を整えるほか、 技術スタッフによる医療機関等への情報提供・安全 講習会などの実施を通じて、長年、安定供給と保安 活動を推進してまいりました。このような高圧ガス保安に関する各種措置等が高く評価され、このたびの

受賞に至ったも のと考えており ます。

今回の表彰を 機に、いきに 気を引きを を定供給ととは 活動に注力する とともに、して の 関が の 関が となまいり ます。



高圧ガス保安経済産業大臣表彰盾

3 #ベての人に 健康と福祉を





物流安全/化学品安全

製造工程の安全確保のみならず、物流工程における安全確保や、お客様に対して化学品を適切に 取り扱っていただくための安全性データの提供などに積極的に取り組んでいます。

物流安全確保の取り組み

輸送途上における危険有害性物質の漏洩、爆発、火災などの重大事故は地域の安全や環境に大きな影響を及ぼしかねません。

当社では、物流の安全確保と遵法輸送の徹底を 図るため、物流会社と一体となって活動を展開して います。

物流会社の管理者や乗務員を対象に保安教育を 実施し、危険有害性物質の特性、安全な取り扱い 方法を周知することで、事故の未然防止に努めると ともに、事故発生時に迅速かつ的確に対応するた めに、共同で緊急通報訓練や災害拡大防止処置の 訓練を実施しています。

化学品安全への取り組み

化学物質が世界的に流通する中、製品などに含有される化学物質の適正管理のため、国際的に法規制の厳格化が進んでいます。

当社は、国内外の法規制の遵守を徹底するとともに、お客様に当社製品を安全に取り扱っていただくため、化学物質の危険性有害性情報を積極的に取得し、各国の言語での「SDS(安全データシート)」「GHSラベル」を通じて、お客様に提供し、適切な使用をお願いしています。

TOPICS

持続可能な物流の実現に向けた物流改善・環境負荷低減への取り組み

当社は、2019年から国土交通省等が提唱する「ホワイト物流」推進運動に参画しています。本運動は、トラック運転手不足の深刻化により物流機能が危機的な状況に陥っている中、物流の安定的確保とともに経済成長への寄与を目的に、トラック輸送の生産性の向上・物流の効率化、誰もが働きやすい労働環境を実現しようとするもので、当社としてもこの運動



ホワイト物流推進運動ポータルサイト (国土交通省自動車局貨物課「ホワイト物流」推進運動担当) https://white-logistics-movement.jp/faq/ を通じて生産性の高い物流改善と同時に働き方改革 の実現を目指してまいります。

また、2020年3月、着荷主および物流事業者の三者連携により、環境負荷の低減とトラック運転手不足に対応するためトラックによる陸上輸送から内航コンテナ船輸送へ転換したことで「エコシップ・モーダルシフト優良事業者」として認定され、国土交通省より表彰されました。これまで取り組んできた環境負荷低減への一定の功績が認められたものと自負しております。

当社は、引き続き持続可能な物流の実現に向け



て、顧客、物流事業者と連携しながら、物流の改善と 環境負荷の低減に取り組んでまいります。

エコシップマーク

エコシップマーク:エコシップ・モーダルシフト優良事業者として 認定された企業に利用が許可されたマーク







品質保証

品質マネジメントシステムを通じて、顧客への 信頼を得るとともに、イノベーション実現に貢献しています。

全社品質保証システム

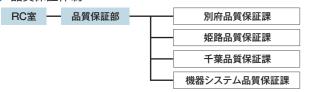
当社では全社一体となった品質マネジメントシステムを展開することにより、顧客目線に立った品質保証活動を実施し、「お客様が満足しかつ安心して使用できる製品とサービス」を提供しています。

またSDGsを意識した日々の品質活動を遂行する ことにより"顧客満足・当社満足・社会満足"の実現 を目指した活動を展開してまいります。

品質保証体制

全社品質保証の統括部門として本社組織である RC室の中に品質保証部を置き、更に各地区に品 質保証課を設置し、横断的な品質保証活動を展開 しています。

▶品質保証体制



品質保証活動

品質保証部では、「品質保証部連絡会」を毎月開催し、組織的に品質保証活動を進めるための調整や審議を行い、国内各地区との調和を図っています。

また、毎月の「品質月報検討会」において、発生した品質トラブル(苦情・クレーム・内部不適合)に対する対応を協議し、類似トラブル防止の観点より、水平展開を図っています。更に、この結果をまとめた「品質月報」を毎月、経営層、部門長に報告し、ラインを通じて品質意識が末端まで浸透するよう、品質保証の強化に取り組んでいます。

各工場においては、毎月「品質会議」を開催し、トラブルの発生状況および対応を報告、審議するとともに、その審議結果を共有化することにより組織内徹底を図っています。また、予防処置の一環とし

品質保証活動におけるキャッチフレーズ: 顧客満足・当社満足・社会満足の実現を。

て、品質リスクアセ スメントによるリスク の抽出を行いトラブ ル防止における予防 処置を図っています。



品質会議の様子

品質監査

品質保証システムの維持・改善のため、国内各工場や生産委託先に対して、品質保証部による「工場品質監査」および「QCパトロール」を実施しています。

「工場品質監査」は、品質保証部のスタッフが監査員となり、製造部門と一体となって改善の機会を見つけ出し、品質トラブルの未然防止と顧客満足の向上に繋げています。

また、「QCパトロール」では、現場の4S状況や表示類による識別管理状況の確認、あるいは、製造部門と品質保証部門とで、品質リスク抽出を現地で行い、改善策の考案・実施に向けた取り組みを展開しています。





海外工場監査の様子

国内工場監査の様子

グローバル品質保証体制の推進

海外拠点とは「グローバル品質連絡会議」を半期ごとに開催し、品質や製品安全に関わる活動状況について情報交換や指導、各課題への協議を行うとともに、海外工場に対する工場監査も定期的に開催し、刺激し合っています。また最近では国内外の工場における海外からの原料調達も増えてきており、海外の原料供給先や生産委託先の実地監査にも同行し、供給者管理の強化にも取り組んでいます。

社員とともに









企業が持続的に成長を続けるためには、社員の成長が必要です。当社では「人」を財産と考えています。自ら考え成長する"人財"の育成に取り組むとともに、社員が安心して働きやすい職場づくりに向けた施策を実施しています。

当社の人財育成方針

当社が「求める社員像」は、当社のありたい姿の 実現に向けてまい進し、全社員が共有すべき価値 観"SEIKA WAY"を意識、実践する人です。そのよ うな社員の育成のため、人財育成方針にしたがい、 人財の育成に関わる環境整備、諸施策を実施して います。各階層別の研修プログラムをはじめ、技 術・技能伝承研修、グローバル化支援教育など 様々な教育プログラムを用意しています。

教育・技術教育の拡充

当社では、経験・知識の豊富なベテラン社員や 社外の専門家を講師として、技術・技能伝承教育を 実施し、若手の早期戦力化に役立てています。研 究者や生産技術者を対象としたコースを設け、工場 や研究所、エンジニアリング部門などそれぞれの受 講者ニーズに応じた技術・技能の伝承を強化してい ます。

●グローバルタレント

事業の海外展開に対応するため、当社グループではグローバルに活躍する人財の早期育成を目的とした「グローバルタレント養成コース」を設けています。この教育プログラムは、1年半程度の国内での研修期間と、数カ月間の海外グループ拠点での研修期間に分かれています。2019年度は第4期生が国内での研修を修了し、内2名が海外グループ拠点での研修を実施いたしました。

グローバル人財の育成は当社グループの成長には 不可欠であり、今後も継続的な育成に取り組んでま いります。

●ライフプランセミナー

社員が生きがいや働きがいを通じて、自身の人生設計を考える機会としてライフプランセミナーを設けています。これまでは55歳の社員対象の研修に加え、2019年度より新たに50歳の社員を対象としたキャリアプラン研修を導入しました。また、同年度に導入した福利厚生型の確定拠出年金「DC制度

(Defined Contribution Plan)」に対する全社員対象の研修を実施いたしました。

今後も社員が自律的に自身のキャリアを切り拓く ことができるよう、全社員を対象としてライフプラ ンセミナーを充実してまいります。

健康経営の推進

●健康経営基本方針と主な取り組み

当社は、2019年4月から本格的に健康経営に向けた取り組みをスタート、経営のトップである社長が健康経営を経営の重要課題の一つとして積極的に取り組むことを宣言し、健康経営基本方針を制定、当該方針のもと、健康の維持・増進のための様々な施策を行っています。

【健康経営基本方針】

- 1. 当社は、従業員とその家族が安心して生活できるよう、「健康経営」に向けた取り組みを推進します。
- 2. 当社は、従業員自身が自律的に健康の維持・ 増進に取り組むことを積極的に支援します。
- 3. 当社は、住友精化健康保険組合および住友精化労働組合と一体となり、従業員とその家族の心身の健康づくりを推進します。

主な取組内容としては、全社員の定期健康診断・二次検診受診の100%実施、就業時間中の禁煙化、インフルエンザの感染症予防のため事業所内での予防接種実施などに取り組むほか、インセンティブマネジメントの仕組みを取り入れて健康改善度合いに応じたポイント付与を行っています。

また、家族の健康診断についても、積極的に費用補助やPRを行うなど受診率の向上と健康の増進に努めています。2019年度は姫路工場、千葉工場にて従業員家族を対象とした健康フェアを開催し、運動の重要性に関するセミナーを実施し巡回バスで







の健康診断を実施しました。

今後も、従業員とその家族の「心と身体の健康 の保持・増進」を重要な経営課題の一つとして認識 し積極的に取り組んでまいります。

●健康経営優良法人2020 (大規模法人部門) に認定

当社は、2020年3月、経済産業省と日本健康会議が共同で認定する「健康経営優良法人2020(大規模法人部門)」に初めて申請を行い、認定を受けました。

今後も継続して健康経営優良法人に認定される よう、より一層働きやすい職場環境を実現し、企業 の更なる成長につなげてまいります。

ワーク・ライフ・バランス (WLB) の推進

●ワーク・ライフ・バランス推進委員会

社員がより働きがい、生きがいを持って働けるよう、ワーク・ライフ・バランス検討委員会を設け、 労使で課題の抽出や様々な施策について協議を行っ てまいりました。

2019年度は、労使における最大の課題の一つであった時短が大きく前進したことに伴い、ワーク・ライフ・バランス推進委員会に改称しました。実労働時間削減、ダイバーシティ推進、柔軟な働き方の

実現などのテーマに沿って労使で推進を進めていく べき指標を定め、指標に基づき定期的に進捗状況 を確認するとともに、更なる推進に向けた諸課題の 抽出と対策案に関して協議を行っています。

●働き方を改善する取り組み

2019年度の労使交渉により、働き方を改善する 取り組みとして長年の課題であった所定労働時間の 短縮について労使にて合意し、2020年4月より実施 しています。これにより年間の所定労働時間は、常 届勤務、交替勤務ともに1.883時間となりました。

時短実施後も引き続き、生産性向上を通じた実 労働時間の削減に向けて労使一丸となり取り組んで まいります。

メンタルヘルス体験カウンセリング実施

当社では、メンタルヘルス疾患に対する取り組みとして、社外機関と連携したEAP制度 (Employee Assistance Program・従業員支援プログラム)を導入しています。その利用促進のため、カウンセラーをそれぞれの事業所にお招きし、体験カウンセリングを実施しています。2019年度は約100名が体験カウンセリングに参加しました。相談を迷っている方の助けにつながる活動を模索し、メンタルヘルス疾患への予防と早期発見に努めてまいります。

TOPICS

家族参加の運動会の実施

当社では、心身のリフレッシュならびに社員間の交流を深めることを目的とし、事業所ごとにレクリエーションを毎年開催しています。そのうち姫路工場で昨



年11月に開催した『家族参加の運動会』についてご紹介いたします。

運動会当日は、従業員とその家族約230名が参加し、職場単位で4つのチームに分かれて、11種目の競技で競いました。全ての競技内容を実行委員(社員)が考案し、工夫を凝らした各競技においては、大いに盛り上がりました。また、子ども向けに出店したお菓子屋台も大好評でした。

運動会では、社員やその家族が協力して優勝を目指す姿、テント内で談笑する様子などを通じて、職場や社員間の一体感を強く感じる一日となりました。 今後も当社福利厚生の一環として充実したレクリエーションを開催していきたいと思います。

株主・投資家とともに

株主、投資家などのステークホルダーならびに広く社会に対して、会社情報を正確、かつ迅速に 開示しています。

IRポリシー

当社は、投資家情報(IR情報)を迅速かつ適確に開示することを基本としています。開示にあたっては、法令および証券取引所の規則に従い、当社の事業活動を理解いただくために役立つ情報を提供してまいります。

情報開示方法

情報開示は、公正・適時・公平な開示を基本に、東京証券取引所のTDnet(適時開示情報伝達システム) およびマスコミ(記者クラブなど) を通じて行っています。

●IR情報サイト

当社ウェブサイトでは、決算、業績予想、 株主総会などのIR情報 を掲載しています。今 後とも内容の充実を図っていきます。



IRサイ

▶ 株式の状況 (2020年3月31日現在) 発行済株式の総数 13,972千株 株主数 4,375名 外国法人など 証券会社 3.174 117 (22.7%)(0.8%)所有者別状況 13,972 個人その他 1.911 その他の (13.7%)国内法人 金融機関 4.954 3,814 (27.3%)

株主・投資家とのコミュニケーション

●株主総会

当社は株主総会を、株主の皆様に、適切かつ正確な情報を提供し、ご意見を伺うための重要な機会として位置づけています。わかりやすい事業報告に注力し、電子議決権行使制度も採用しています。

●株主に対する利益還元

当社は、剰余金の配当に関しては、株主還元を経営上の最重要課題の一つと考え、各期の収益状況をベースに、安定的な配当実施および今後の事業展開に備えるための内部留保などを勘案して決定することを基本としています。

●決算説明会

主にアナリスト、機関投資家の皆様を対象に定期的(年2回)に決算説明会を開催しております。

決算説明会では主に決算概要や業績見通しなど について説明を行い、投資家の皆様からの様々な ご質問にもお答えしています。

2019年度上期決算説明会(2019年11月開催)からは、説明会後に動画(音声)配信を開始しました。



決算説明会

インサイダー取引防止への取り組み

当社グループでは、健全な株式取引市場の構築のために、インサイダー取引の未然防止を徹底しています。社内規程により、社員の当社株式取引について、疑義が生じないよう、所定の手続きを実施することを定めています。

ガバナンスとリスク・コンプライアンス

会社の持続的な成長と中長期的な企業価値の向上のため、コーポレート・ガバナンスの強化、リスク・コンプライアンス管理体制の整備・推進に取り組んでいます。

コーポレート・ガバナンス

コーポレート・ガバナンスに関する基本的な考え方

- ・当社は、株主の正当な権利行使に関し、情報提供の充実や権利行使の機会の確保を行い、また、株主の平等性を実現します。
- ・当社は、株主をはじめ顧客・従業員・地域社会 などのステークホルダーの立場を尊重した企業 風土の醸成と、これらとの協働に積極的に取り 組みます。
- ・当社は、役職員が従うべき行動準則を制定・実践し、内部統制システムを適確に運営します。
- ・当社は、英文での決算情報の開示やウェブサイトによる適時の情報提供など、適切かつ充実した情報開示を行い、経営の透明性の確保を行います。
- ・当社の取締役会は、株主に対する受託者責任および説明責任を踏まえ、会社の持続的成長および中長期的な企業価値の向上を促すべく、経営方針および企業戦略を示すとともに、迅速・果断な意思決定を行います。
- ・当社は、会社の持続的成長と中長期的な企業価値の向上に資するように株主と建設的な対話を行い、これに際して当社の経営戦略や経営計画をわかりやすく説明します。

コーポレート・ガバナンス体制

コーポレート・ガバナンスの体制は右図のとおりです。経営環境の変化に迅速に対応するため、取締役の任期を1年としています。

役員指名委員会と同報酬委員会(社長、人事担当取締役と独立社外取締役2名で構成)は、取締役の指名・報酬、監査役の指名に関する助言を行っています。

経営会議は、計内取締役がグループ経営上の重

要事項を議論する場で、常勤監査役も出席しています。

役員連絡会は、社内取締役、監査役と執行役員 による業務執行の報告や意見交換の場です。

内部統制委員会は、リスク・コンプライアンスと レスポンシブル・ケア活動 (「無事故・無災害」、「環 境保護の推進」および「顧客の安全の確保と満足 の向上」)、その他内部統制システムの運用を統括 しています。

内部監査部は、業務執行の監査を行っています。

リスク・コンプライアンス

当社グループでは、リスク・コンプライアンス管理体制を整備、推進しています。

リスク管理体制

●未然防止

リスク・コンプライアンス委員会およびレスポン シブル・ケア委員会において、リスク対策の実施 状況の評価と監督を行っています。

■緊急時の対応

緊急事態(人命への危険や企業の財産・信用に 重大な影響を及ぼす事態、自然災害など)に対し、 速やかな被害拡大の防止と事態の収拾を図り、再 発を防止するため、事故対策本部を設置し、対応 にあたります。

コンプライアンス

●コンプライアンスPDCA管理

当社では、毎年、リスク・コンプライアンス委員会およびレスポンシブル・ケア委員会において、コンプライアンス対策の実施状況の評価と監督、法令の遵守状況の報告を行い、コンプライアンスの向上に努めています。

●内部通報制度

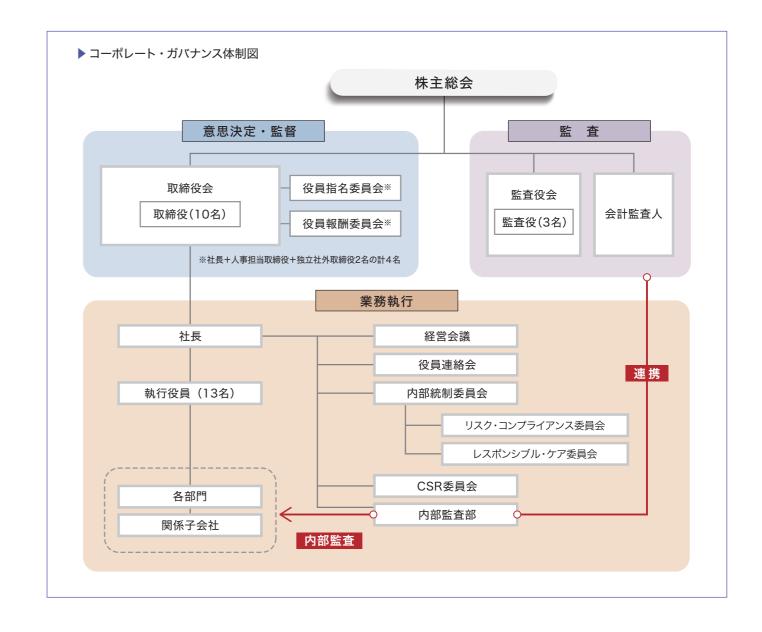
コンプライアンス違反などの事実について、ホームページ、電子メールと郵便の方法により、内部通報の受付をしています。窓口は、社内と社外(法律事務所)に設けています。

コンプライアンス相談

コンプライアンスにかかる社員からの疑問に答えることにしています。

●コンプライアンス教育

新入社員、リーダー・主任層や新任管理職などの階層別集合研修やテーマに応じた職場教育を行うなど、様々な啓発・教育の機会を設け、コンプライアンスの実効性を確保しています。



会社概要と2019年度の業績

会社概要

設立:1944(昭和19)年7月20日 従業員数:1.359名(連結ベース2020年3月31日現在) 資本金:9.698百万円

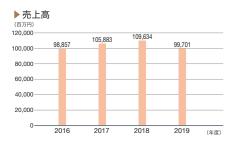
2019年度の業績

2019年度のわが国経済は、雇用・所得環境の改善が続くなかで、個人消費にも持ち直しの動きが見られ、設備投資も増加しまし た。海外経済も総じて緩やかな景気回復が続きましたが、第4四半期会計期間には新型コロナウイルス感染症の国内外における感染 拡大などの影響により、先行きが懸念される状況となりました。

このような状況のもとで、2019年度の当社グループの売上高は997億1百万円(前期比9.1%減)、営業利益は77億7千5百万円 (前期比14.3%減)となりました。経常利益は、為替相場の変動の影響により親会社および海外子会社の外貨建債権債務などに係る 為替差損が11億2千万円発生したことなどにより、68億6千6百万円(前期比20.5%減)となりました。親会社株主に帰属する当期純 利益は、前期に海外子会社において固定資産の減損損失40億4千万円を計上したことなどにより、前期比36億8千1百万円増益の 42億8千5百万円(前期比609.1%増)となりました。

また、1株当たり当期純利益は310.74円、ROEは6.7%となりました。

財務指標



















人々の暮らしに潤い"URUOI"を 与える吸水性樹脂 (アクアキープ)

吸水性樹脂事業

吸水性樹脂「アクアキープ」は、 ユーザーのニーズに合わせ 吸水機能を自在にコントロール可能。 人々の暮らしに 潤い"URUOI"を与える 住友精化の技術。



事業を通じた 社会貢献

一製品紹介-AQUA KEEP /



吸水性樹脂「アクアキープ」は、自重の数百倍もの水を吸 収・保持する機能を有しています。長年にわたり、独自に研 究開発した技術で吸水性能を自在にコントロールすること で、ユーザーの多様なニーズに対応しています。この技術を 利用してつくられる製品は、紙おむつやペットシートなどの 日用品、電力・通信ケーブルの止水材といった工業用製品 など多岐にわたります。日本をはじめ韓国、シンガポール、 フランスに製造拠点を有し、世界各地域の需要に応えられ る体制をとっています。

今後も独自性を活かした製品とサービスの提供を通じて、 SDGsの課題解決に取り組み、地球環境や人々の暮らしの 改善に貢献してまいります。

職場インタビュー

姫路工場 吸水性樹脂製造部 吸水性樹脂課

渡来 祐太さん

安全・安定操業に向けグループ 一丸となり考動しています

私は吸水性樹脂「アクアキープ」 の製造に従事しています。ユーザー のニーズに応じて、様々な品質を有 した製品の安定提供に向け、多系 列の設備の操業に携わっています。

当課では、ベテラン社員から中 堅・若手社員と幅広いキャリアの人 財が、積極的に意見交換を行える アットホームな職場環境を構築し、 課員一丸となって、生産効率化と品質 向上への取り組みを継続しています。 この様な取り組みを推進していく中、 「安全を全てに優先させる」を念頭



に、危険予知活動・リスクアセスメ ントの活用、作業要領書を用いた 教育を行い、課全体で共通認識を 図り、安全考動を実行しています。

製造課の一員として、育児や介護 に関わる衛生材料など、私達の生 活に欠かせない商品を提供している ことに製造者としての誇りを持ち、 責任ある考動で業務に取り組んで

吸水性樹脂事業の業績

当事業では、売上高は658億9千4百万円(前期比 11.4%減)、営業利益は35億4千4百万円(前期比 27.9%減)と減収減益となりました。これは、販売数量 の減少に加え、中国市場において販売価格の下落と人 民元安の影響を受けたことなどによるものです。

主要製品

高吸水性樹脂

(衛材用途、工業用途、その他)







事業を通じた 社会貢献

一製品紹介-**HEC**



HEC (ヒドロキシエチルセルロース) は、セルロースを原料とした水溶性の高分子化合物です。原料であるセルロースは自然界で大量に入手できるサスティナブルな原料ソースとして、今もなお注目され研究が続けられている物質です。

HECは化粧品や塗料の増粘剤、重合用添加剤など様々な分野で用いられています。当社HECは独自技術により製品中に含まれる金属不純物を低減した高純度グレードを有しており、厳しい基準を持つ化粧品やシリコンウエハ研磨剤の原料として使用されています。今後も社会のニーズに合致した製品を開発し提供することで、世界共通の目標であるSDGsの課題に取り組み、持続可能な社会の発展に貢献します。

職場インタビュー

開発研究所 電池材料グループ 乾 萌絵さん

環境問題改善に関わる製品開発 に携わっていることにやりがいを 感じています。

私はリチウムイオン電池の高性能 化に関わる材料の研究開発に従事 しています。主な担当業務は開発品 の性能評価です。電池メーカーに対 して当社の開発品を提供する際に 必要な電池性能評価データの取得 や、評価条件の確立等の検討を行っています。

業務を遂行するうえでは、化学全般の知識や電池に関する知識の習得が必要になります。私は当グループへの配属当初、知識が浅く不安もありましたが、職場での教育やセミナーへの参加、特許・文献の調査



等を通じて知識を深めることによっ て業務に活かすことができました。

また、地球温暖化をはじめとする環境問題への関心の高まる中、リチウムイオン電池は省エネルギー化や環境負荷低減には欠かせない存在となっています。このような環境問題改善に関わる製品開発に表わっていることに大きなやりがいを持ち、技術者として自分が携わった製品を世の中に提供していくことで社会に貢献できるように業務に取り

事業を通じた 社会貢献

制品紹介ー半導体用材料ガス

半導体用高純度特殊材料ガスは、メモリやロジックICなどの半導体デバイスの成膜・エッチングなどに使用されています。例えば、高純度炭化水素系製品では3D-フラッシュメモリや従来のパワー半導体に代わる省エネデバイスとして普及が期待されるSiCパワー半導体に使われています。化学メーカーとして培った合成・精製技術と国内初の計器校正用標準ガスメーカーとしての分析・取扱い技術を基に、様々な半導体用材料ガスを国内外へ安全・安定的に供給することで、SDGsの課題解決に取り組み、持続可能な社会の発展に貢献してまいります。

職場インタビュー

ガス事業部 機器システム部 岩本 純一さん

自分の仕事が世界の環境改善に つながっているというやりがい

ガス事業部でPSAガス発生装置・回収精製装置の販売に携わっています。酸素ガス発生装置は、酸素ガスを使用する世界中のあらゆる製造業において、欠かせないユーティリティーの一つとして利用されています。また、各種ガス回収精製装置は、お客様の工場で発生する排ガス中から水素ガスや炭酸ガス、希ガスなどを回収し再利用するものです。



私は、これら各種装置を世界各 国、業界でご利用いただけるよう、 日々営業活動に取り組んでいます。 お客様によって異なるご要求・ご要 望を可能な限りすくい上げ、お客様 にご満足いただける装置をお届けす るため、設計部門と協力しながら 装置の製造販売を行っています。当 社装置が、お客様の製造プロセス における効率改善や安定製造やガス の有効利用へ貢献できることに、や りがいを感じています。

機能化学品事業の業績

当事業では、売上高は184億4千6百万円(前期比1.0%減)、営業利益は19億9千1百万円(前期比7.0%減)となりました。営業利益については、研究開発費の増加などにより減益となりました。

主要製品

水溶性樹脂、合成ゴムラテックス、 エマルジョン、粉末・微粉末ポリエチレン、 医薬関連製品、各種添加剤など





ガス・エンジニアリング事業の業績

当事業では、売上高は153億6千1百万円(前期比7.6%減)、営業利益は22億2千8百万円(前期比11.1%増)と減収増益となりました。売上高は、エレクトロニクスガスなどの販売数量が減少したことにより減収となりましたが、営業利益は、エンジニアリング事業の利益率が改善したことなどにより増益となりました。

主要製品

半導体用材料ガス、標準ガス、工業薬品、 ケミカルガス、PSAガス発生装置など

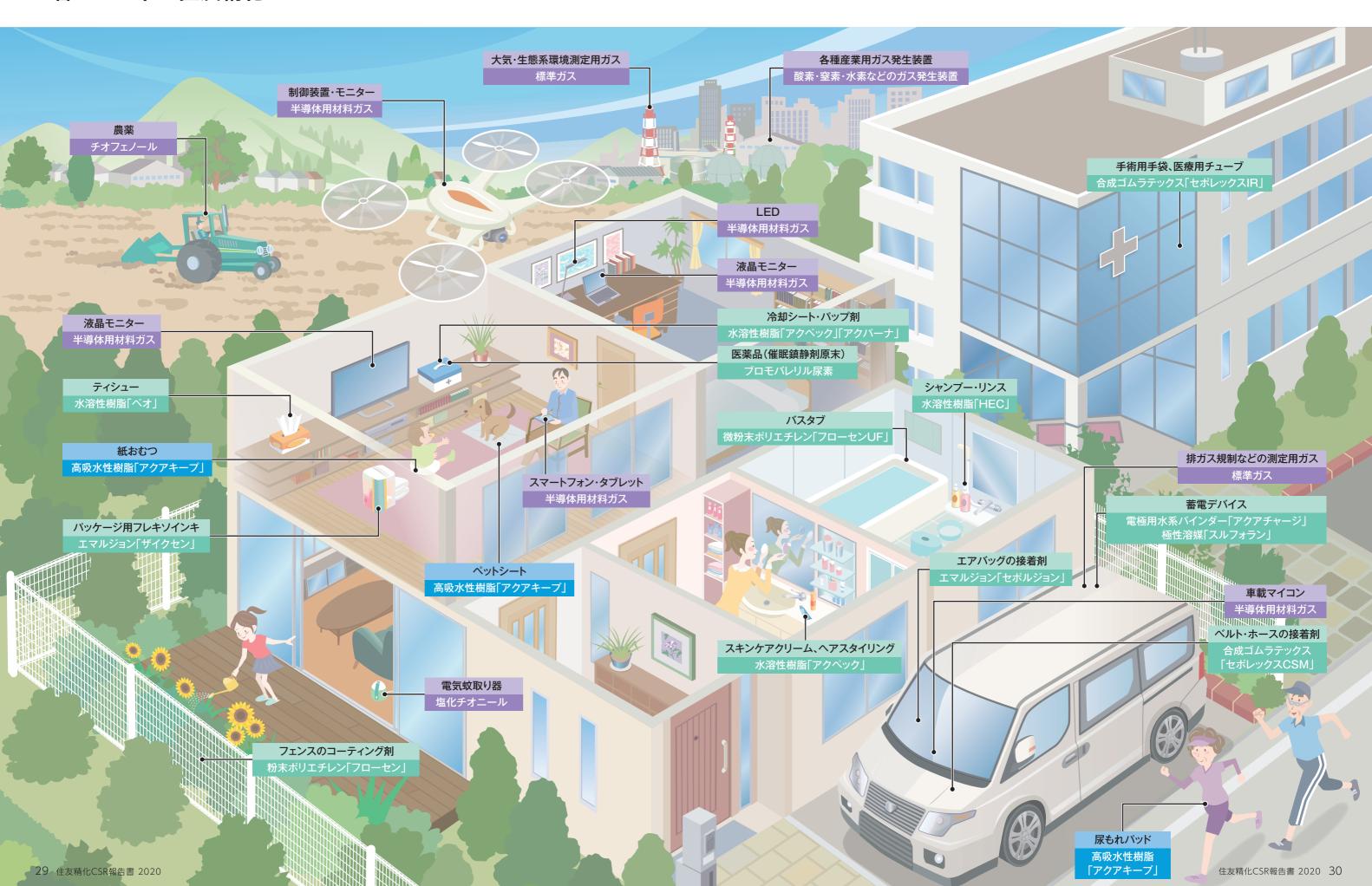




暮らしの中の住友精化

吸水性樹脂事業

機能化学品事業 ガス・エンジニアリング事業



グループネットワーク

▶ 国内拠点

● 開発研究所 生産技術研究所 ● 姫路工場 ● 開発研究所 生産技術研究所 ● 本社(大阪) ■ 本社(東京)

▶ 海外拠点

ヨーロッパ (ベルギー)

● アルケマ社

[製造委託] (フランス)



国内関係会社:セイカテクノサービス株式会社(兵庫、千葉)

TOPICS

上海市慈善基金会から義捐金に対する感謝状授与 住友精化貿易(上海)有限公司

当社は、中国・上海を拠点に衛材用途として中国 全土の紙おむつメーカーなどに主力製品である吸水 性樹脂の販売や技術サービスを行っています。

中国国内での新型コロナウイルス感染症拡大をう けて、現場で日々ご尽力される医療従事者の皆様に 感謝の意を表するとともに、多少なりとも衛生分野に も関わる当社としても早期収束に向け少しでも貢献で きればということで、ささやかではありますが上海市 慈善基金会を通じて復旦大学附属華山医院へ義捐金 を寄付させていただきました。

この寄付に対し、このたび同医院から感謝状を賜 りました。微力ながらも医療従事者の皆様へお力添 えができたことを大変喜ばしく思います。今後とも地 域社会とのつながりを大切にしながら、吸水性樹脂

事業を通じて中国の衛生課題改善や、超高齢化社会 対応に貢献してまいります。

日 時 2020年3月4日(水) 14:00-14:40 場 所 復旦大学附属華山医院 紅会老楼 (上海市静安区烏魯木斉中路)



義捐金贈呈式

国内拠点

場:別府工場(兵庫)、姫路工場、千葉工場 社:大阪、東京 研 究 所:開発研究所、生産技術研究所 営業 所:大阪、東京

連結子会社

	会社名		業務内容
国内	セイカテクノサービス株式会社		各種サービス業務
海外	スミトモ セイカ シンガポール プライベート リミテッド	シンガポール	高吸水性樹脂の製造
	スミトモ セイカ アジア パシフィック プライベート リミテッド	シンガポール	高吸水性樹脂・機能化学品等の販売
	台湾住精科技(股)有限公司	台湾	エレクトロニクスガスの製造・販売
	住精ケミカル株式会社	韓国	エレクトロニクスガスの製造・販売
	スミトモ セイカ ポリマーズ コリア カンパニー リミテッド	韓国	高吸水性樹脂の製造・販売
	住友精化(中国)投資有限公司(※)	中国	高吸水性樹脂・ガス製品などの販売、中国における 傘下企業への管理・財務などの地域統括業務提供
	住精高分子技術(上海)有限公司	中国	技術サービスの提供、市場調査
	住精科技(揚州)有限公司	中国	機能化学品の製造・販売
	スミトモ セイカ ヨーロッパ S. A. /N. V.	ベルギー・フランス	高吸水性樹脂・機能化学品等の販売
	スミトモ セイカ アメリカ インコーポレーテッド	アメリカ	機能化学品の販売

(※) 2020年7月に住友精化貿易(上海) 有限公司の会社形態を中国統括機能を有する「投資性公司」へ変更するとともに、商号を住友精化(中国) 投資有限公司に変更いたしました。

住友の事業精神



1. 営業の要旨

第1条:わが住友の営業は信用を重んじ確実を旨とし、もってその鞏固隆盛を期すべし。

第2条: わが住友の営業は時勢の変遷、理財の得失を計り、弛張興廃することあるべしといえども、 いやしくも浮利にはしり軽進すべからず。

2. 自利利他 公私一如

住友の事業精神について

住友の事業精神の源流ともいえる「営業の要旨」にある、「信用を重んじ確実を旨とし」とは、取引 先の信頼、社会の信頼に応えることを最も大切に するということであり、「浮利にはしり軽進すべから ず」とは、目先の利益のみにとらわれることのない ようにという強い戒めです。

また、「自利利他 公私一如」とは、「住友の事業は、住友自身を利するとともに、国家を利し、かつ社会を利するものでなければならない」とする考え方であり、常に「公益との調和」を図り、企業の社会的責任を果たすべきことを表しています。

こうした精神は、住友グループ各社に現在も受け 継がれています。

住友の井桁マークについて

井桁マークは住友グループのシンボルとして知られています。井桁は本来「泉」「井戸」を象徴する 紋章で、天正年間、住友の元祖が初めて京都に店 を開いたころの屋号「泉屋」に由来しています。

明治以後、その事業の拡大発展とともに井桁マークは住友事業全体の象徴として、社章や商標に用いられるようになり、現在では、連系各社を中心に多数の関連会社を擁する住友グループのシンボルとして社会の大きな信頼をかちえています。

CSR報告書Webサイトのご案内





本報告書および過去の報告書は、当社HPにも掲載していますので併せてご覧ください。

https://www.sumitomoseika.co.jp/csr/responsiblecare.html

第三者検証意見書



「住友精化株式会社CSR報告書2020」

第三者検証 意見書

2020年8月18日

住友精化株式会社 代表取締役社長 小川 育三 殿

一般社団法人 日本化学工業協会 レスポンシブル・ケア検証センター長 永 松 茂 樹

■検証の目的

レスポンシブル・ケア報告書検証は、住友精化株式会社が作成した「住友精化株式会社CSR報告書2020」(以後、報告書と略す)に記載された下記の事項について、レスポンシブル・ケア検証センターが化学業界の専門家の意見を表明することを目的としています。

- 1) パフォーマンス指標(数値)の算出・集計方法の合理性及び数値の正確性
- 2) 数値以外の記載情報の正確性
- 3) レスポンシブル・ケア活動の評価
- 4) 報告書の特徴

■検証の手順

- 本社において、各サイト(事業所、工場等)から報告される数値の集計方法の合理性、及び数値以外の記載情報の正確性について調査を行いました。調査は、報告書の内容について各業務責任者及び報告書作成責任者に置問すること、並びに彼らより資料提示・説明を受けることにより行いました。
- ・姫路工場において、本社に報告する数値の算出方法の合理性、数値の正確性、及び数値以外の記載情報の 正確性の調査を行いました。調査は、各業務責任者及び報告書作成責任者へ質問すること、資料提示・説明を 受けること、並びに証拠物件と照合することにより行いました。
- 教値及び数値以外の記載情報の調査についてはサンプリング手法を適用しました。

圖意見

- 1) パフォーマンス指標(数値)の算出・集計方法の合理性及び数値の正確性について
- ・数値の算出・集計方法は、本社及び姫路工場において、合理的な方法を採用しています。
- ・調査した範囲において、数値は正確に算出・集計されています。
- 2) 数値以外の記載情報の正確性について
- 報告書に記載された情報は、正確であることを確認しました。原案段階では表現の適切性あるいは文章の分かり易さに関し、若干の問題があることを指摘しましたが、現報告書では修正されており、現在修正事項は認められません。
- 3) レスポンシブル・ケア(RC)活動の内容について
- ・経営計画が変更され、新たな中期経営計画「2022年度中期経営計画」に取り組むに当たって、社内説明会、 グループ会社への説明、関係先への連絡等で丁寧に説明されていることを評価します。
- ・経営トップのリーダーシップの下、RC活動及びCSR活動は活発に推進され、PDCAが回っていることを確認しました。
- ・RC 委員会委員長のもと、RC 監査が毎年国内工場および連結子会社の製造拠点で実施され、年度のRC 活動 計画の実施状況がチェックされ、その結果が RC 委員会及び内部統制委員会に報告され、マネジメントレビュ ーに生かされていることを評価します。
- ・品質保証活動については重大クレーム0件、自社起因品質トラブルで目標をほぼ連成していします。下期より 新たに、損失コスト、を目標項目に加えられたことを評価します。
- ・姫路工場が昨年実施した『家族参加の運動会』は盛会で、従業員と家族約 230 名が参加、組織の一体感や社 員間のコミュニケーションを良くする効果があり、今後も継続されることを期待します。
- 4) 報告書の特徴について
- ・ESG(環境・社会・企業統治)の切り口で、読者層を広げることを意識した編集内容になっています。

CLE